

東証プライム
レーザーテック (6920)

先端半導体向けマスク
欠陥検査装置が柱。
EUV光源品は独占。
マスクブランクス検査
装置も。
(会社四季報の「特色」か
ら抜粋。)

【今ならこれがお勧め】

株価500円以下の低位株メソッド銘柄
を是非お買い付けください。
目標株価は7倍超え。

例えば、弊社コラムで紹介したメタ
プラネット (3350) は、配信時株価
の310円から高値7210円まで上昇。

株価23.25倍に大化けとなりま
した！

他にもリベルタ (4935) は同じく
509円から6600円まで大化け。

株価はテンバガー以上の12.96
倍に大化け！

次の大上昇候補株をページ下部の画像
をクリックしてご確認ください！

| アナリスト一覧 | 押しPT | 所感など (売買助言ではありません) |
|--|----------------|--|
|  億男W | 熱狂度 40 | かつてはデイトレーダーたちの間で注目銘柄として君臨し、不動の人気を誇っていた。最大の武器は、その激しい値動き。1日に何度もチャンスが訪れる値ブレ幅の大きさだった。だが今、そのボラティリティに陰りが見え始めている。値幅の縮小が進み、往年の勢いに陰りが差してきた印象だ。あの熱狂を知るトレーダーにとっては、物足りなさすら感じる局面だ。勢いを測るテクニカルATRでは、高値を記録した2024年5月23日は1402円、2025年4月8日のATR694円まで低下している。 |
|  木村 泰章 | 名前負け度 90 | 現時点では、買うだけの根拠に乏しいものと見ます。会社側は、マスク関連装置では大手半導体デバイスメーカーの投資計画の見直しなどの影響で、今期は大幅な減少を見込んでいることから、この点が来期に向けて改善する見通しが示されない限りは、買いには時期尚早との印象です。また、15000円どころの累積売買代金が大いものと目され、株価指標に割安を示す数値も乏しいことから、株価が15000円以上の水準に切り返すには、かなりの時間を要するものと見ます。 |
|  株ドクターマサト | 値がさ度 100 | 株価が10000円以上 (11460円) で、個人の投資家様は取り組みにくそうですね。信用取り引きなら手が届きそうですが、当然取り組みリスクも高くなるため、資金がある方は現物、資金余力が乏しい方は他の銘柄を選んでみるのも一考です。半導体市場に敏感に反応しやすい点も含め、値幅はよくもわるくも大きいでしょう。もっと株価が低く時価総額も低い銘柄の方が、ダイナミックな株高が期待できそうです。もちろん半導体製造装置市場の成長は中長期的に期待できると思いますので、企業そのものの技術と将来性は期待できると思います。 |
|  女株将軍アスナ | 日本の先進企業度 93 | レーザーテック社の先進性は、幕末の軍略家、大村益次郎の先見の明を彷彿とさせる。益次郎は、当時の常識を覆す軍制改革を提唱し、近代日本軍の礎を築いた。しかし、その革新的な思想は、時に周囲の理解を得られず、不遇の時代を過ごした。レーザーテック社もまた、先端半導体などの最先端の事業ゆえに、過大評価と過小評価を繰り返し、時代の流れに翻弄され、正当な評価を受けにくい時期と云うのはあろうな。しかし、益次郎が靖国神社の銅像として後世に語り継がれるように、レーザーテック社の技術も、未来の産業を大きく変える指標となるかも知れぬぞ。ふふふ。 |

※株価・情報等は執筆時のものを参照しています

銘柄クロスレビュー